

成 田 市 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

令和元年5月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和元年5月28日 開会：午前10時 閉会：午前11時15分

会 場 成田市役所5階503会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員（教育長職務代理者）	小 川 新太郎
委 員	高 木 久美子
委 員	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗

出席職員

教育部長	神 山 金 男
教育部担当次長	石 毛 直 樹
教育総務課長	松 島 真 弓
学校施設課長	篠 塚 正 人
学務課長	竹 尾 裕 之
教育指導課長	藤 田 総
生涯学習課長	神 崎 良 浩
学校給食センター所長	椿 弘 志
公民館長	谷 平 裕 美
図書館長	田 中 美 季
教育総務課長補佐（書記）	篠 塚 康 孝

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 佐藤勲委員、片岡佳苗委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○4月27日 開館35周年記念 図書館講座について

今年度は、開館35周年を記念して「これからの図書館を考えよう」と題して、記念講演とシンポジウムを行いました。記念講演の講師は、アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役の岡本 真さんでした。岡本さんは、Yahoo! 知恵袋の企画・設計を担当したことで知られておりまして、その後、会社を設立して、各方面での情報・知識・サービスの創出事業や産官学連携事業を展開している方で、本市にとっては、これからの図書館づくりに向けて、図書館全体をハードとソフトの両面でデザインしていく上で貴重なお話を聞くことができました。講演の後、私もパネリストの一人として、「成田の未来と未来を支える図書館を考える」というテーマのもとでシンポジウムを行いました。パネリストには、ジャーナリストの猪谷 千香さん、元成田市立図書館司書の明定 義人さん、皆さんよくご存じの図書館協議会委員長 野村 豊さんに参加していただき、講演をお聞きになった方々のご質問をもとに意見を交わしました。図書館講座は、この後、6月16日に本館と「もりんぴあこうづ」で、6月23日に本館で、それぞれワークショップを開催する予定です。委員の皆様も、もしご都合がよければ、ご参加なされてはいかがでしょうか。

○5月11日 令和元年度 成田市生涯大学院入学式・開講式について

本年度の入学生は、第42期生、52名でした。40期、41期の皆さんと合わせて146名の皆さんが学ぶことになりました。講座は、この日を除き年間30回、それぞれに専門講座15回、実施します。毎年、皆勤賞が何人も出ている講座ですので、受講される皆さんの意欲が持続できますよう魅力ある講座を実施できたらいいなと思っています。

○5月16日・20日・27日 学校長目標申告・教育長面談について

市内全校の校長先生方の目標申告を受けました。学校教育目標の設定、その具現化のための具体策等、それぞれ創意工夫をされて新たな年度に臨んでいる姿を感じさせていただきました。34人の校長先生方を中心に、子どもたちの未来を背負っているという責任感だけでなく、子どもの変容を楽しむことのできる人間性豊かな教員を育てることに力も注いでほしいと願っているところです。教育委員会では、学校の指導、監督だけではなく、共に学ぶ、共に育てるという姿勢で、各学校の支援に当たってまいります。委員の皆様にもご理解とご支援をお願いいたします。

○5月18日 令和元年度 明治大学・成田社会人大学開講式について

今年も、明治大学から竹本副学長はじめ4人の先生方においでいただき、スカイタウンホールで開講式を行いました。今年度の受講者は136名、運営ボランティアに7名の方が参加されることになりました。国際社会課程、教養文化課程、ライフマネージメント課程、それぞれの分野で素晴らしい先生をお迎えして、この講座を身近で受講できるということは、本当に素晴らしいことだと思います。もっと広く市民に周知して、是非、大勢の方に参加していただきたいと思いました。

市議会

○5月15日 令和元年5月臨時会について

市議会議員選挙後、最初の議会ということで、常任委員会や議会運営委員会など議員の皆さんの役割分担を決める議会でした。今年は、例年にないほど穏やかに進んだように思いました。来月からは定例会が始まります。気持ちを引き締めて取り組んでいきたいと思っています。

その他

○4月25日 成田市御案内人 市川海老蔵丈による中学生歌舞伎講座について

中学生歌舞伎講座を実施したいという学校は1校でしたので、その1校、久住中で行われた歌舞伎講座を見てまいりました。こうした場で海老蔵さんが演じることは出来ないということで、実際の講座は、お弟子さんたちが行いました。そのお弟子さんたちの立ち回りの稽古を見て実際に生徒も参加したのですが、海老蔵さんは生徒の質問に答えるだけという内容でした。久住中の保護者の皆さんや、この情報を得て海老蔵さんを見たくていらっしゃった方々もたくさんおいででしたが、少し残念な気持ちだったのではないのでしょうか。何故なら、「市川海老蔵丈による中学生歌舞伎講座」と銘打っていますが、実際は、海老蔵さんは生徒の質問に答える

だけの出番しかなかったからです。

○4月25日 印旛地区教育委員会連絡協議会 平成31年度定期総会について

印教連の総会については、委員の皆様もご出席されておりますので、ここではご報告の必要がないものと思い、省略させていただきます。

○4月26日 平成31年度 第1回千葉県教科用図書選定審議会について

県の教科用図書選定審議会委員に委嘱されましたので、この日、第1回目の会議に参加してまいりました。会議では、審議会の役員の決定と今回選定する教科用図書の内容について報告がありました。これから専門調査員の調査を受け、その結果を審議することになります。地区採択でも同様のことを行っていますので、今後も、多分、同じような流れで進んでいくのかなと思っています。

○4月28日 平成31年度 成田市青少年相談員連絡協議会総会について

今年度、新たに青少年相談員に委嘱された皆様に市長から委嘱状の交付を行った後、総会が行われ、行事並びに予算の承認の後、新たな会長として亀崎 典也さんをはじめ、各役員が選出されました。学校の子どもたちにとっては、中学生対象の夏のオールナイトハイクと、小学生対象の冬の綱引き大会が、青少年相談員さんの関わる大きな行事です。いずれも、相談員さんをご自分の仕事をしながらの支援ということで、本当に大変なご苦勞をされています。まずはそのことに感謝し、これからも子どもたちを育てる役割の一部を担っていただけることを期待します。

○5月7日 第2回成田市校長会議について

4月に引き続き、第2回目の会議でした。10連休明けということで、まずは、自校の児童生徒や教職員に何か気になる点はないか確認することと、私自身が連休中に見学した足利フラワーパークの例を挙げ、先を見据えて完成の姿をイメージすることの大切さ、学校で言えば、どの職員も9年間の学びを終えて卒業していくときの生徒の姿をイメージできることが必要という話をしてきました。

○5月8日 平成31年度 第1回教科用図書印旛採択地区協議会について

第1回目の採択地区協議会でしたので、会長など役員の選出、専門調査員の選出等を行い、

今後の日程を確認しました。今年は、成田市が採択地区協議会の事務局を引き受けておりますので、慣例に従い、事務局を運営する市の教育長として、私が会長職を引き受けることになりました。今年は、小学校教科用図書の採択。しかも、初めて英語の教科書も採択します。様々な課題が出てくるものと予想されますので、しっかりと準備を整えて臨みたいと思います。

なお、専門調査員については、本会議の報告事項にて担当課から説明をさせていただくことになっております。

○5月9日～10日 令和元年度 関東地区都市教育長協議会総会について

長野県松本市で開催されました。例年、会の初日に、開催地の著名人をお招きして講話をいただくのですが、今回は、開催地、松本市の菅谷 昭 市長の講話でした。私は、恥ずかしながら、この日まで菅谷市長について、事前の知識を持ち合わせてなかったのですが、菅谷市長は、信州大学医学部を卒業後、東京聖路加国際病院で外科研修をされたのち、信州大学医学部第2外科で勤務。その後、カナダのトロント大学に2年間留学し、甲状腺疾患の基礎研究をされた後、再び信州大学医学部に戻り、講師から助教授へと昇任されました。この間、チェルノブイリ原発事故の医療支援活動に参加され、汚染地域における小児甲状腺検診をはじめとし、現地に7回入って支援活動をされました。その後、信州大学病院を退職され、ベラルーシ共和国に渡り、首都ミンスクの国立甲状腺がんセンターにて小児甲状腺がんの外科治療を中心に医療支援活動に従事したのち、高度汚染地ゴメリ州に移られ、支援活動を続けられました。結局、ベラルーシ共和国での長期滞在支援は、5年半にわたって続けられたとのことでした。

ベラルーシから帰国された後は、長野県衛生部に採用され、平成16年に長野県衛生部長を退職されて、松本市長に就任されたという異色の経歴を持つ方でした。この間、NHKテレビの「プロジェクトX」でも取り上げられ放映されるなど、その活躍ぶりが一般の方にも知られるようになったということです。宴会時の「3010（さんまる いちまる）運動」や、「健康寿命」を唱えた方としても有名です。どんな講演内容だったか、詳細にお話ししたいところですが、時間に限りがありますので、とにかく大きな刺激をいただいた講演会だったということでご報告といたします。

○5月11日 第10回わんぱく相撲成田場所について

今年のわんぱく相撲は、同日に生涯大学院の入学式・開講式がありましたので、私は開会式だけ出席して、すぐに会場を後にしました。ですから、特にご報告の材料がありませんので、省略させていただきたいと思います。

○5月11日 令和元年度 成田市PTA連絡協議会定期総会について

同日に実施された生涯大学院の入学式・開講式の後に行われ、出席してまいりました。今年度のテーマは、「新たな時代 共に歩もうPTA」。

なお、今年度の役員には、昨年度から引き続き、会長に守屋 徹 氏が選出されました。

○5月13日 令和元年度 千葉県教育庁北総教育事務所 指導室訪問について（桜田小学校）

今年度最初の北総教育事務所 指導室訪問が、本市の桜田小学校で開催されました。桜田小は、印旛地区でも最も東の端に位置する学校です。子どもたちが制服を着用する小学校としても、よく知られています。若い、経験の浅い教員が増えている近年、授業力が大きな課題ですが、桜田小学校も例外ではありません。どんな機会であっても、これを上手に利用し、教員の力量アップにつながればいいと思っています。桜田小の先生方がこの日の指導・助言を活かしてくれることを願っています。

○5月15日 臨時校長会議について

テレビ、新聞等の報道で皆様よくご存じかと思いますが、四街道市内の中学校教員が女子高校生にわいせつな行為をしたということで逮捕された事件がありました。これを受けて、市内全学校の校長に、対岸の火事とせず、自校教職員の意識と倫理観の向上を促すよう求める指導をしたところです。指導したからといって、すぐに効果があるものではありませんが、こうした行為をすることで、在籍校の児童生徒や保護者、同僚、そして、自分の家族に大きな迷惑をかけることを十分認識してほしいと訴えました。

○5月17日 令和元年度 成田市戦没者追悼式について

成田国際文化会館で行われ、部長とともに出席してまいりました。ここ数年、私の出張と重なり、参加できない年が続きましたが、今回は参加できました。以前に参加したとき以上に、この式典に参加される方が減っているように感じました。遺族の高齢化が進んでいるのだと思います。戦争を風化させない取り組みの一つとして、今後もこの追悼式を継続していくためには、何らかの改善が必要になってくるかもしれないなと思いました。

○5月19日 第63回千葉県東部五市体育大会について

今年度は、本市を会場に開催されました。私は開会式に出席した後、いくつかの種目の開催

場所を回ってまいりました。本市のスポーツ協会が一般社団法人となってから、初めての地元開催ということで、事務局の運営はどうなるか心配しておりましたが、やはり、いくつか課題があったようです。開会式での運営、会場の決定、駐車場の扱い等々、確認してきたはずの手続きに様々な不備が指摘されてしまいました。大会は本市が総合優勝を成し遂げたのですが、大会参加者からの反応はどうだったのでしょうか。私は卓球会場となった中台体育館アリーナで観戦しましたが、同じアリーナのフロアのすぐ隣がバスケットボールの試合会場でしたので、ボールをドリブルする音と振動、大きなホイッスルの音など、とても卓球に集中できる雰囲気ではありませんでした。どうして別会場にできなかったのか。それぞれの種目の責任者が集まって協議したはずなのに、誰も気づかなかったのか。残念でなりません。今回の反省をもとに、次回はこのようなことが無いよう、遠くからおいでいただいている選手の皆さんに気持ちよくプレーしてもらえよう、力を尽くしてほしいと感じた次第です。

○5月19日 令和元年度 成田市文化財保護協会総会及び春の歴史講演会について

東部五市体育大会と同日の午後、文化財保護協会の総会と歴史講演会が開催され、出席いたしました。文化財保護協会総会への出席者は非常に少なかったのですが、その後の歴史講演会には、比較的多くの方がおいでくださいました。

今回は、「江戸時代の佐倉牧と人々の暮らし」と題して、高見沢 美紀 先生がご講演をしてくださいました。佐倉牧とは、江戸幕府の軍馬の育成と供給のために幕府が運営する牧場の一つだったのですが、この成田地域は、佐倉牧に隣接し、一部は牧場の中にあったという話から始まり、90分間とても楽しくお話をしてくださいました。先生ご自身が、時間があればいくらでも話したいという雰囲気でしたので、聞いていた私たちも、すっかり時間のたつのを忘れてしまうほど聞き入っておりました。講演後の質問にも、はっきりと、わかりやすく答えてくださる姿に感銘を受けた次第です。

○5月20日 令和元年度 第1回日本遺産北総四都市江戸紀行活用協議会について

平成28年に日本遺産に指定されてから3年目となります。千葉県庁で活用協議会が開催され、私とシティプロモーション部長が委員となっておりますので参加してまいりました。活用協議会では、これまで国からいただいていた補助金がなくなり、今後は、それぞれの自治体で必要な経費を負担し合うこととなります。したがって、今後は特に、4都市が歩調を合わせて活用の機会を図っていくことが大切になってきます。そもそも、日本遺産は文化庁が管轄していることから、教育委員会教育長も活用協議会の委員となっておりますが、実際の活動の中心は

観光関係部署となることから、若干の違和感はありますが、協力できる範囲で力を尽くしてまいりたいと思いました。

○5月21日 令和元年度 千葉縣市町村教育委員会連絡協議会 定期総会並びに特別講演会について

茂原市で開催されました。小川委員さん、佐藤委員さんも出席されていますので、ここでは特にご報告はいたしません。茂原市で開催されるのはこれが最後となり、次回からは市原市が事務局となる予定ですので、この大会も市原市で開催されるものと思います。

○5月21日 令和元年度 成田市青少年育成市民会議総会について

各地域の青少年健全育成協議会の役員さん方で組織する青少年育成市民会議ですが、その総会が開かれ、参加いたしました。青少年育成市民会議が主催する行事は青少年音楽祭だけとなりますが、オールナイトハイクや綱引き大会など様々な行事にも協力していただいています。こうした方々のおかげで子どもたちが活躍できることに感謝したいと思います。

○5月23日～24日 第71回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会 富山大会について

先週、富山市に行ってまいりました。研修の合間に以前から一度行ってみたいと思っていた富山市立図書館に足を運び、ガラス美術館も含め、じっくりと見てまいりました。隈 研吾氏が設計した建物、本市でご講演いただいた岡本 真さんがコーディネートした図書館ということで、大きな期待を持ってまいりましたが、まさに期待通りの素晴らしい図書館でした。この建物は1階と7、8、9階が富山第一銀行となっていて、図書館は3階から6階までですが、6階は事務室だけですので、一般の方が利用するのは3階から5階になります。また、建物に吹き抜けを斜めに通してあることから、各フロアから別のフロアの様子を見渡すことができる素晴らしいデザインで、2階には、ちょっとした軽食も食べられるカフェがあり、3階が児童図書、4階が一般図書、5階が参考図書のフロアとなっておりまして、2階から6階にはガラス美術館のエリアもあります。立札一つにしましてもデザインされていて、一つひとつが美しい建物だと感じました。

総会と研究大会は、分科会、文部科学省初等中等教育局教育課程課長からの講話等、盛りだくさんの研修となりました。分科会では、学校教育の部門に参加し、提案された内容について協議してまいりました。その中で、小学校英語教育の実践発表があり、提案された内容を見聞

きしましたが、本市で長く続けてきた英語教育は、その方向性といい、質の高さといい、全国に誇る内容であることも確認できた次第です。来年度から小学校学習指導要領改訂の全面实施となり、全国の小学校で外国語教育が実施されますが、教職員の働き方改革が課題となりますことから、講話や実践発表では、これらの点が中心となる大会でした。来年度は、山口県山口市で開催される予定です。

○5月27日 公益財団法人 印旛郡市文化財センター第105回理事会について

昨日、開催され、出席してまいりました。今回は、昨年度の事業報告と収支決算の承認について協議しました。以前からお伝えしておりますように、文化財センターの収支状況は安定した状況で、一時の危機は脱したように思います。限りある文化財ですので、開発が進めば、いずれこのセンターも活用される機会が減ってしまいますが、今のところは順調だということです。

以上、報告とさせていただきます。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：先程、教育長報告にありましたように、5月21日、教育長と小川委員と一緒に、千葉県市町村教育委員会連絡協議会の総会と講演会に参加しました。講演は、新しい学習指導要領におけるプログラミング教育について、文部科学省の講師の方が、省のホームページに掲載されているような内容を、たくさん説明しただけというものでした。役人としての仕事をしているのですが、参加された方々も、言いたいことは山ほどあるけれども、若い職員に何を言っても仕方がないかなといったような思いだったのではないのでしょうか。新しい学習指導要領が始まる中で、教職員の働き方改革、英語教育、道徳の教科化、プログラミング教育など、本当は有機的につながってはいないのですが、何か、ただ部分的に捉えているところがあり、実現性が乏しいように感じられます。何が大事かということを見極めて、学校現場の支援をしていかなければ、みんなが迷ってしまうのではないかと考えました。

また、先週の土曜日、津富浦小学校の運動会に、午後から参列しました。暑い日でしたが、種目の合間に十分に休憩や水分補給の時間を取るなどの配慮をして、事故もなく楽しい運動会が行われました。印象的だったのは、とてもにこやかに子どもたちと接していた新任の女性の先生ですが、リレー競技に出場したとき、第一走者として

スタートラインに立つと、それまでの柔和な表情から、きりりとした目の表情に変わりました。この先生は、やる気があって期待ができるなと思い、嬉しくなりました。同日に運動会を開催した学校の中には、午前中だけの日程とした学校もあると聞きました。ニュースなどでも、この時期は熱中症が心配されることから、午前中だけの日程の運動会とすることが報道されていますが、一体、何のためにこの時期に運動会を行うのだろうかと思います。これまで秋に行っていた運動会を、この時期に行うようにしたのは、熱中症対策もあったのではないのでしょうか。ですから、もう一度、時期を含めて、子どもたちにとって何が一番いいのか、学校としても考えていく必要があるのかなと思いました。

小川委員：4月25日、印旛地区教育委員会連絡協議会の平成31年度定期総会に参加しましたが、質問が一つもない総会でした。

5月8日、本年度第1回目の教科用図書印旛採択地区協議会に出席しました。今年は、小学校の教科書が採択されるわけですが、特に、道徳は、実際に教えてみて、その教科書がいいのかどうか、見極めていく必要があるのではないかと思います。また、英語教育については、成田市は積極的に取り組んでいますので、どのような教科書がふさわしいのか、子どもたちにとって魅力のある教科書は一体どの教科書なのか、その辺のところを見極めていきたいと思います。

5月21日、千葉縣市町村教育委員会連絡協議会の定期総会がありまして、佐藤委員からもありましたように、プログラミング教育について、文部科学省の方から講演がありました。何か、いろいろなことをやるようにといった話をされていましたが、決められた授業時数の中で、そんなにいろいろなことを言われても困ってしまいます。ですから、成田市では重点的に何に力を入れてやっていくのが子どもたちにとっていいのか、その辺のところを真剣に考えていかないと、全て中途半端に終わってしまうという気がします。もう一度、小学校、中学校のカリキュラムについて、よく検討していく必要があるのではないかと思います。

高木委員：先程、青少年相談員連絡協議会総会について教育長からお話がありましたが、育成市民会議の下部組織の健全育成の総会に出席したときに、ある校長先生から、青少相が主催して行っている綱引き大会のことについて、お話がありました。私は、自分の子が6年生のときは、綱引きチームの監督になるなど、一生懸命、力を入れて頑張っ

ていたタイプなのですが、その校長先生から、綱引き大会が不登校の引き金になっているケースもあるということをお聞きし、そういうこともあるのだということを知りました。ですから、そういった行事について、一生懸命にやっていただくのはいいのですが、PDCAサイクルがありますが、行事を行った後のチェックをきちんとしていただいて、どういう形がいいのか、やりたい子どもにだけやらせて一生懸命にやるのがいいのか、そういったところについても少し見直していただけるといいのかなと考えました。また、健全育成などの下部組織における活動に関してですが、いろいろな活動をする中で、小さなことから大きなことまで、いろいろな事故等があったりします。社会福祉協議会の方では、地域福祉活動等のボランティア団体に対して、賠償を含めた保険に加入できます。ですから、健全育成などの活動についても、安心してボランティア活動ができるよう、それぞれの組織が保険料を払う形でもいいので、できれば賠償を含めた内容の保険について考えていただきたいと思います。

また、これは私の職場においてのことですが、年5日の年次有給休暇の確実な取得が4月から義務化されましたので、確実に取得するように職員会議で話をしたところです。そこで、学校における働き方改革について、具体的な取り組みを伺いたいと思います。

議 長：それでは、まず、ボランティアの方々に関しての保険について、現状等、説明してください。

神崎生涯学習課長：放課後子ども教室など、市の主催事業については、市の方で保険に加入しています。育成市民会議についてですが、元になる会議については、保険に加入しておりますが、その下で、各地区で活動されている方々の保険につきましては、各組織の活動の中でということで、お願いしている形となっております。また、子ども会につきましても、連絡会に登録されるときに一人あたり200円ということでもいただきまして、県の方で取りまとめ、組織として保険に加入しているということです。現状としてのお話しかできませんが、以上のようなことでございます。

藤田教育指導課長：学校の方で行っていただいている草刈り等のボランティア活動につきましては、人数を確認しまして、保険に加入しております。また、PTAの行事に関しては、PTA保険に加入しております。

議 長：健全育成などの団体に関しての部分については、よく話し合っていたき、事故等のないように、また、いざというときには備えられるように検討していただきたいと思います。次に、働き方改革に関して、教育委員会として取り組んでいることについて、説明してください。

竹尾学務課長：まず、本市教育委員会では、本市独自の人的な配置として、学校サポート教員、健康推進教員、特別支援教育支援員、養護補助員等を配置しており、これは教職員の負担軽減につながっております。このような人的な配置は、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保することにも有効な手立てであると考えております。また、県教委より、教職員が行っている掲示物や印刷物等に係る事務的な処理等を支援するスクール・サポート・スタッフが、今年度、本市には2名配置されております。また、校務支援システムの導入により、事務量の軽減や事務の精度向上につながっているのではないかと考えています。また、校長会議等で、各学校においては、校長先生方の強いリーダーシップのもと、教職員の意識を改革しながら実効性のある働き方改革を進めてもらいたいといった話をさせていただいております。このように、いろいろな取り組みをしているところでありますが、取り組みを進めますと、どのような成果がありましたかといった調査が国や県からありまして、各学校から回答をもらうことになりますので、働き方改革の推進には、なかなか厳しいところもありますが、学校長と連携を深めながら鋭意努力しているところでございます。

議 長：今、学務課長から話がありましたように、学校における働き方改革について、抜本的に改革するには人的な支援がないと難しいであろうと思います。意識を改革したり、部活動の休養日を増やしたりするだけでは、根本的な解決にはなりません。これは、全国の協議会等でも話がありますが、例えば、現在、英語専科の教員が成田市に1名配置されているものの、週26時間の授業を行うこととなっているため、1校だけでは週26時間の授業はできませんので、他の学校にも行って授業を行っているといった状況で、配置された専科教員にとっては少しも働き方改革になっていませんし、とても不自由です。全校に英語の専科教員を配置するだけでも、相当な働き方改革になるのではないかなと思います。これは、国の方にも何度も要望しているところです。先日、財務省は、11学級以下の学校は統合するようといった極端な提言案を出し

ました。学校数を減らせば財政負担が軽減するといった考え方ですが、統合して生み出された財源については、学校教育の充実、例えば、専科教員を充実させるといったことに使っていただきたいと思います。

なお、学校の合理化を進めるということについてですが、昨日まで行われました校長の目標申告では、校長先生方が教職員の負担を軽減するために合理化している内容を話されました。これは目標申告の中で聞いた話ではありませんが、ある学校では、先生方の負担を軽減するためとして、週案の反省欄に反省を書くことをやめたという話を耳にしました。私が成田小の校長のときには、一人ひとりの週案に対して必ずコメントを書きまして、先生方とのやりとりをしていました。そうしたことから、私が成田小で退職するときには、新規採用だった教員から「週案は、私と校長先生との交換日記みたいなものでした。」と言ってもらったということがありました。教員になったばかりの人にとっては、アドバイスを受けることによって元気が出たり、自分を振り返ったりすることができ、役立っていたということです。また、そういった自分の思いを、直接は言えなくても、週案に記録することで校長先生に伝えることができるということなのです。ですから、そういった役割のある週案の反省欄を、働き方改革という名のもとに、なくしてしまっているの难道うかということは、目標申告の中で校長先生方にお話しさせていただきました。また、タイムレコーダーの導入によって、時間外勤務の時間数が縮減されていることについても確認できております。他にご意見等ございますか。

片岡委員：4月27日の開館35周年記念図書館講座に出席しました。現在、図書館の利用者はご年配の方が多いので、子育て層や学生などの若い方が使いやすい図書館にしていただけだと、講師の岡本さんの話を聞きながら思いました。また、富山市立図書館のお話もありましたが、いろいろな図書館を見てみたいなと思いました。

また、教科書採択に関して、英語の副読本なのですが、うちの子どもは、「ほとんど使わなかったよ」と言っていました。それを聞きまして、必要だから配付されていると思うのですが、現場の先生には少し使いづらかったのかもしれないなと思いました。ですから、現場の声を聴いていただいて、先生方が上手に使えるようなものを選んでいただきたいと思います。

また、先週の土曜日、うちの子どもの小学校も運動会でした。気温が30度を超える猛暑の中、大丈夫かなと思っていましたが、校長先生のご配慮で昼休みには冷房の効いた部屋を開放していただいたり、先程、佐藤委員からもお話がありましたが、プ

ログラムの中で水分補給の時間が何回かあったりしましたので、午前の部も午後の部も、滞りなく行われてよかったと思いました。

また、働き方改革に関して、これは聞いた話なのですが、タイムレコーダーを押した後にも仕事をする先生がいるようで、独身の先生が多いようです。家庭を持っている先生については、早めに退勤できるように配慮するような職員室の雰囲気があったり、あるいは、年度によっては、そういった配慮がなされなかったりと聞きましたので、なかなか数値だけではわからない部分もあるのではないかと思います。

藤田教育指導課長：英語の教科書と副読本に関して、少し説明させていただきたいと思います。

まず、副読本は教科書とは異なるものでございまして、本市では、独自の指導プログラムを作成して英語教育を実践しておりますが、来年度からは、小学校の英語の教科書が採択されるということになります。本市の英語教育に関する検討委員会の方でも、教科書と本市独自で行っている英語のプログラムを、どのように併用していくか検討をいただいているところでございます。

議長：富山市立図書館についてもう少しお話ししますと、私が訪れたのは、平日の午後3時半過ぎでしたが、下校した中学生が、結構、来館していました。各フロアの窓際には、テーブル席が、使えきれないのではないかなと思えるほど、たくさんありましたが、一般の利用者は、成田市立図書館よりも少ないように感じました。席がたくさんあるので、そのように感じたのかも知れませんが、本当に十分過ぎるくらいたくさんの閲覧席が設置されているなと感じた次第です。それから、学習室がありまして、音が漏れないように透明なガラスの扉があるのですが、こちらは、ほぼ満室の状態で、高校生らしき利用者が多く、よく活用されているなと思いました。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号及び議案第2号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により、非公開により審議する。

<これより非公開>

議案第1号 「工事請負契約の締結について（成田市立橋賀台小学校西棟大規模改造工事（建築工事）」

篠塚学校施設課長：

議案第1号、工事請負契約の締結について（成田市立橋賀台小学校西棟大規模改造工事（建築工事））のご説明をさせていただきます。本案は、橋賀台小学校が昭和49年に建築されてから45年が経過し、経年により老朽化した校舎について、教育環境の改善及び建物の耐久性の確保を図るため、2か年計画の2年目の校舎西棟の改修工事を、昨年度の校舎東棟に続いて実施しようとするものでございます。

本工事の契約につきましては、4月26日に電子入札システムを利用した総合評価方式による制限付き一般競争入札を行ったところ、5者からの入札があり、2億3,146万2千円をもって株式会社ナリコーが落札しましたので、同社と請負契約を締結しようとするにあたり、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるよう市長に申し入れるものでございます。

次に、工事の概要についてご説明いたします。議案第1号 資料をご覧ください。1ページ目は位置図となります。

2ページは配置図ですが、図面の上が北方向で、高低差のある地盤の高い部分の北側に校舎が配置されています。本年度の改修部分は、鉄筋コンクリート造3階建て、床面積1,173平方メートルについて、建物の骨組みを残し、内外装及び各種設備を全面的に改修するとともに、教室等配置の見直しなどを行います。

3ページは1階平面図ですが、上段が改造前、下段が改造後となります。主な教室配置の変更ですが、西棟1階にあったコンピューター教室を東棟2階に、児童ホームを別棟で整備しましたので、これらの場所をそれぞれ、ことばの教室を西棟2階から、特別支援教室を東棟1階から移設しました。

次に、4ページの2階平面図をお願いします。ことばの教室を1階に移設し、この場所を普通教室といたしました。

5ページをお願いします。3階平面図です。3階は、普通教室4教室のままで配置の変更はありません。

6ページは屋上平面図、7ページは西棟の立面図となります。本工事につきましては、建物内部の仕上げに木製品を使用することで温かみのある教室とすることや、窓ガラスを全面的に強化ガラスとするなどの改修を行うこと、さらに、省電力かつ長寿命のLED照明やトイレの

床を臭いの発生が少ないドライ式に変更するものであります。

工期につきましては、契約日の翌日から令和2年3月18日までを予定しております。

以上、簡単ですがご説明とさせていただきます。

《議案第1号に対する質疑》

佐藤委員：各階、トイレの男子と女子が入れ替わっていますが、これは何か理由がありますか。

篠塚学校施設課長：パイプスペースがあり、トイレブース等の配置や廊下からの視線を考慮しまして、男子トイレと女子トイレを入れ替えて配置いたしました。

小川委員：改造前に西棟にあったコンピューター教室ですが、東棟に移動したということでしょうか。

篠塚学校施設課長：はい、東棟に移動いたしました。

小川委員：あと、屋上の手すりですが、改造後にはなくなりますので、屋上には上がれなくなるということですか。

篠塚学校施設課長：東棟の方から、メンテナンスのために屋上に上がれるようにしており、東棟の屋上には手すりを設置し、西棟の屋上につきましては、上がれないようになります。

片岡委員：児童数が減ってくると、せっかく校舎を改造しても教室が余ることになると思いますが、今後、この地域の児童数は減っていくと見込んでいますか。

篠塚学校施設課長：児童数の推計によりますと、だいたい横ばいとなっております。現在、普通教室が14教室、特別支援教室が2教室ありますが、余裕教室につきましては、少人数教育等に利用しているところです。

議長：他にご質問等ないようですので、議案第1号「工事請負契約の締結について（成田市立橋賀台小学校西棟大規模改造工事（建築工事））」を採決いたします。本議案に賛成

の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は可決されました。

議案第2号 「成田市教育事務評価委員の委嘱について」

松島教育総務課長：

議案第2号について、ご説明申し上げます。成田市教育事務評価委員の委嘱であります。この制度は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」そしてまた、同条第2項において、「教育委員会は、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。」とされております。

この法律に基づき、本市教育委員会では、成田市教育事務評価委員設置要領を定め、毎年、点検・評価を実施しているところであります。

ではまず、3ページをご覧ください。本案は、1番上の行に掲載している齊藤 利明 委員の任期が、本年7月25日をもって満了となり、通算3期6年が経過することから、後任となる委員1名の委嘱についてお諮りするものであります。また、再任となる依知川 典子 氏、渡邊 昌美 氏、高塚 典子 氏の3名を、引き続き委嘱することについてお諮りするものであります。

戻りまして、2ページをご覧ください。新たに委嘱しようとする眞鍋 里美 氏ですが、経歴欄に記載のとおり、民生委員・児童委員であり、学校教育や社会教育分野をはじめ、様々な分野でご活躍されており、教育に関し相応の知見を有していることから、適任であると考えております。

ご承認いただいた上は、任期中の大竹 誠司 委員を含め、合計5名の委員の方々に、本年度の点検評価をお願いすることとなります。

第2号議案の説明は、以上でございます。

議長：ただ今の提案に関して、ご質問等はございますか。特にないようですので、議案第2号「成田市教育事務評価委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の

委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

<一旦、非公開を解く>

(2) 報告事項

報告第2号及び報告第3号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により、非公開により審議する。

報告第1号 「成田市青少年相談員の委嘱について」

神崎生涯学習課長：

それでは、報告第1号 成田市青少年相談員の委嘱について、ご報告させていただきます。

平成31年3月31日をもちまして、第19期の青少年相談員の任期が満了となりました。このことから、千葉県青少年相談員設置要綱第7条の規定に基づき、第20期千葉県青少年相談員として、また、同要綱第10条の規定に基づき、第20期成田市青少年相談員として、報告の裏面にあります参考資料のとおり、橋賀台小学校区の3名につきまして委嘱したものです。前回4月の定例会におきまして、成田市の定数134名中131名につきまして、4月1日付での委嘱をご報告させていただきましたが、橋賀台小学校区の3名につきましては、候補者の選定が難航し、4月8日の推薦となりましたことから、5月1日付での委嘱となったものであります。

任期につきましては、成田市の定数134名のうち、空席であった3名分を補完したものでありますことから、令和元年5月1日から令和4年3月31日までとなります。

なお、前回の会議において、青少年相談員の女性の比率についてご質問がありましたので、補足をさせていただきます。134名中、男性が111名、女性が23名で、女性の相談員の比率は17.2パーセントとなっております。今後につきましては、女性の相談員のさらなる登用を検討してまいりたいと思います。

以上、簡単ですが、ご報告とさせていただきます。

《報告第1号に対する質疑》

特になし

<これより非公開>

報告第2号 「平成31年度教科用図書印旛採択地区協議会委員の決定について」

《審議結果》

承認

報告第3号 「平成31年度教科用図書印旛採択地区協議会専門調査員の決定について」

《審議結果》

承認

<非公開を解く>

6. その他

その他 「前回の教育委員会会議で回答を保留した2点について」

竹尾学務課長：

前回の教育委員会会議において、ご質問いただいた事項のうち、回答を保留としていた2点について回答いたします。

1点目は、学校評議員で、一度退任をされた後、再任している人はいるのかという高木委員からのご質問ですが、事務局で調査をした限りでは、同一校及び同一校種で、退任後、再任さ

れた評議員の方はありません。また、小学校での学校評議員を退任し、中学校で学校評議員をされている方についても、事務局で調査をした限りではありません。

2点目は、成田市学区審議会委員の任期が6月30日までとなっているのは何故なのかという、こちらも高木委員からのご質問ですが、成田市学区審議会設置条例の一部を改正する条例が平成21年7月1日に施行されたことから、任期の満了日が6月30日となっていると理解しているところでございます。

その他 「令和元年度 野生生物保護功労者表彰の受賞について」

藤田教育指導課長：

令和元年度 野生生物保護功労者表彰の受賞について、ご報告いたします。5月12日に開催された「全国野鳥保護のつどい」におきまして、遠山小学校が野生生物保護功労者として、文部科学大臣賞を受賞いたしました。この賞は、多年にわたり野生生物のための活動を積み重ね、顕著な功績があった個人・学校・団体に対し、環境省・公益財団法人日本鳥類保護連盟・文部科学省・林野庁から表彰されるものです。

遠山小学校は、学校の敷地内にある「駒の森」における環境学習や貴重な生物の保護活動が認められ受賞いたしました。詳細につきましては、お手元の資料、遠山小学校の学校だよりをご覧くださいと思います。

なお、遠山小学校は、昨年度も、野生鳥獣の保護活動の功績がたたえられ、千葉県知事より感謝状が授与されていることを申し添えます。

議長：昨年表彰があつて、今回の受賞ということになったと思われませんが、素晴らしい表彰だと思います。カタクリの花が咲く頃が良いようですので、皆様、是非、足をお運びいただけたらと思います。

7. 教育長閉会宣言